

第18回個人投資家向け会社説明会の主な質疑応答

Q1：連結当期純利益はこれまで50億円程度で推移してきたが、2020年3月期の計画は26億円となっている。何故こんなに減少する見通しなのか。

A1：マイナス金利政策が続く中、有価証券利息配当金の大幅な減少を見込んでおり、減益予想としております。当面は貸出金利息を含む資金利益が増加しにくい環境であり、ソリューション関連手数料の増加などにより役務取引等利益を増加させていきます。

Q2：預金と貸出金の差額の推移はどうなっているか。

A2：預金、貸出金とも順調に増加しており、ここ5年の差額は概ね1兆円程度で横ばいの推移です。

Q3：国債保有残高と、有価証券利回りについて教えてほしい。

A3：国債保有残高は1,000億円程度、有価証券利回りは1.2%程度となっております。

Q4：有価証券の利回りは1.2%程度とのことだが低水準ではないか。

A4：銀行が運用する資金は預金者の皆様のものであり、流動性が高く、安定的な利回りが確保できる円貨建て債券などを中心に運用するスタンスを取っております。

Q5：他の金融機関との統合は考えているのか。

A5：将来的にどうなるか分かりませんが、当行は健全性も高く、内部留保もありますので、統合については今のところ考えておりません。

Q6：時価総額が少ないと東証一部上場維持できないとの報道もあるが、どのようにとらえているか。

A6：東証一部上場維持基準について、時価総額250億円以上との報道があったと認識しておりますが、当行の時価総額は現時点ではその基準を上回っております。

以上